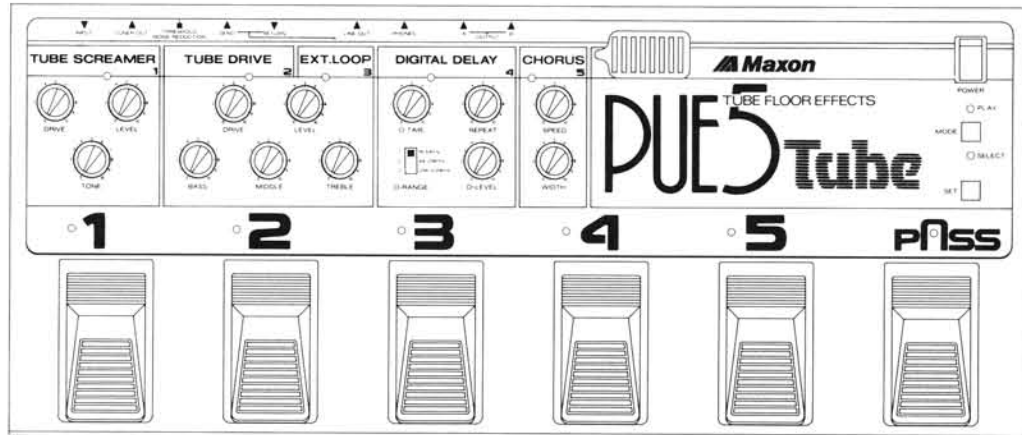
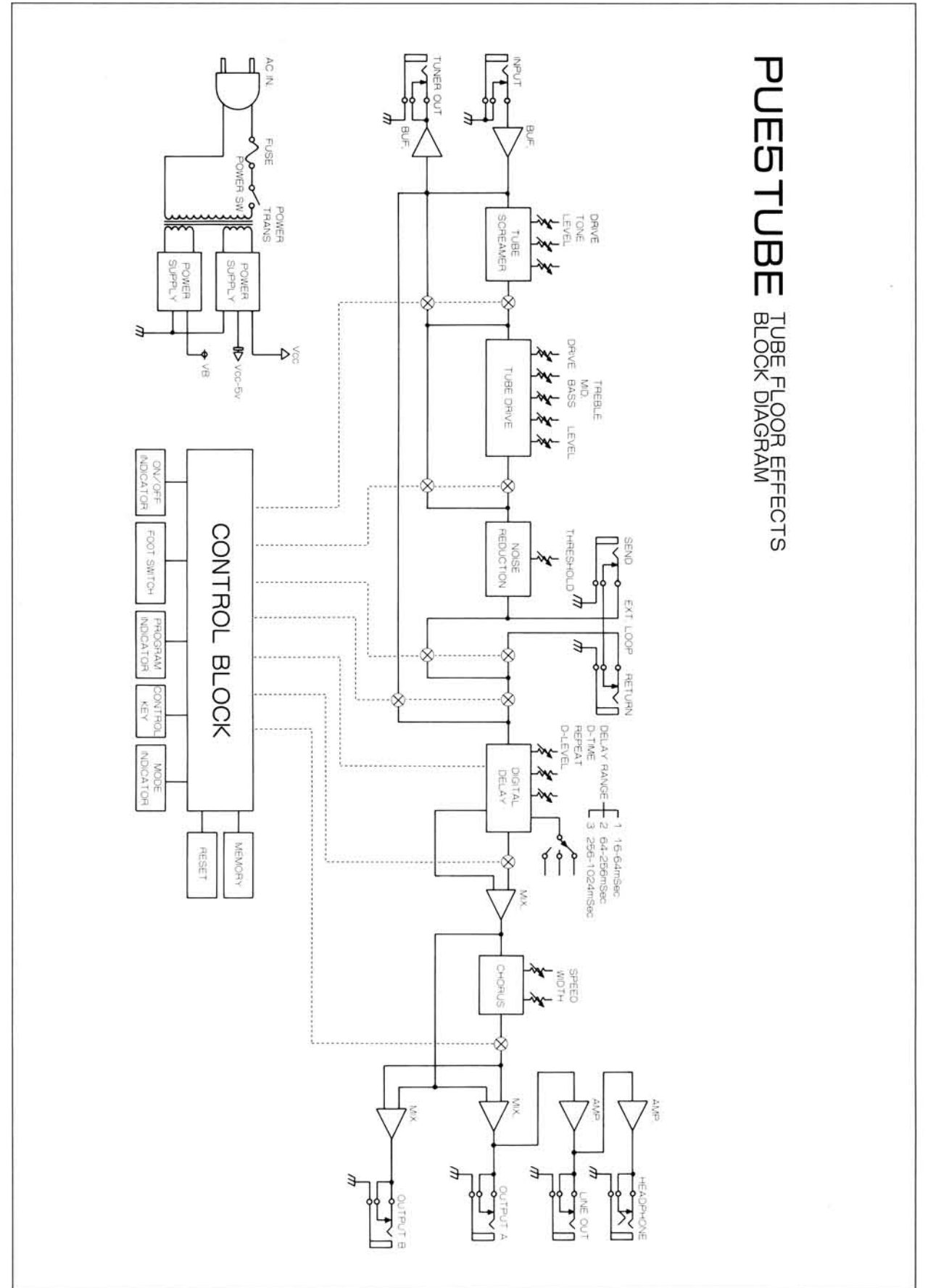
TUBE FLOOR EFFECTS

PUE5 Tube
TUBE FLOOR EFFECTS

取扱説明書

UMN-P5T-0101A MAR. 1991 MAXON Printed in JAPAN

はじめに

このたびは、マクソン・チューブ・マルチ・エフェクツPUE5 TUBEをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用になる前にPUE5 TUBEの性能を充分に発揮させ、正しくお使いいただくために、この取扱説明書をお読み下さい。また、お読みになった後は保証書と一緒に大切に保管してください。

PUE5 TUBEはサウンドメイクに欠かせない5種類のベーシックなエフェクツ(オーバードライブ、ディストーション、ディレイ、コーラス、ノイズリダクション)を内蔵し、それぞれのON/OFFを5パターン記憶させ、フットペダルによってON/OFFのパターンを瞬時に呼び出せる、ライヴ志向の画期的なマルチエフェクターです。

ケーブルを多用する際のトラブルや接続の煩わしさを追放し、気軽に多彩なサウンドメイキングが楽しめます。また、バススイッチにより瞬時にノーマル音が呼び出せエフェクト音との比較が容易な上、エフェクトループに手持ちのエフェクターを組み入れ、さらにサウンドバリエイションを拡げることも可能です。

1台でプラクティス、レコーディング、ライヴ全てに対応し、セッティングもイージー&スピーディー。サウンドメイクを一段と面白くするスーパーユニットです。

主な特長

◆5種類のベーシック・エフェクツを内蔵したオールインワン・タイプです。持ち運びに便利な上、各エフェクツ間のケーブルによる接続が不要です。

◆AC電源により、長時間の使用でも常に安定した電力を供給できます。

◆内蔵している各エフェクツのON/OFFを5パターン記憶(プログラム)させ、フットペダルで瞬時に呼び出すことが可能です。

◆エフェクトループに手持ちのエフェクターを接続して、プログラムに組み入れON/OFFをコントロールできます。

◆バススイッチにより瞬時にノーマル音が選択できるため、サウンドメイクやサウンドトラブル時に有効です。

◆プログラムナンバーとエフェクツON/OFFを豊富なインジケーター群により別々に表示できるため、暗いステージ上でも本機の動作状態や、プログラムの内容が一目で確認できます。

◆ギターアンプシミュレーター付ラインアウトの使用により、PAへのライン送りやMTRを使用してのレコーディング時に、ギターアンプ使用時と同等の特性が得られます。

◆夜間練習や楽屋でのトレーニング時、ギターアンプシミュレーター付フォーンアウトの使用により、ギターアンプと同等の音質で、ヘッドフォーンによるモニターが可能です。

◆ノイズリダクション内蔵により、ハードディストーション・セッティング時でもノイズが気になりません。

◆チューナーアウトにギターチューナーを接続すれば、本機のセッティングとは無関係に、演奏中いつでもチューニングが行えます。

ご使用の前に

〔使用場所について〕

次のような場所での使用は、誤作動や故障の原因となりますのでお避けください。

○振動の多い場所　○ラジオ、テレビ、蛍光灯、等のすぐそば　○直射日光の当る場所　○高温、多湿の場所

○砂やホコリの多い場所

※閉め切った自動車の中なども、高温になり内部に悪影響を及ぼす恐れがありますのでご注意下さい。

〔電源について〕

本機の使用には必ずAC100V(50／60Hz)をご使用下さい。他の電圧の違う電源をお使いになりますと、誤動作や故障の原因となるばかりでなく、トランスや本体が発熱して危険です。また、長時間ご使用にならない時は、安全のためACコードをコンセントから抜いておいて下さい。

電源は国内(AC100V (50／60Hz)専用で、海外ではご使用になれません。海外でご使用になる場合は下記の機関にご相談ください。

〔接続について〕

接続はアンプやスピーカー保護のため、本機や接続する機器の電源を全てOFFにするか、ボリュームを"0"にしてから行って下さい。

〔真空管について〕

本機には真空管を搭載しています。強い衝撃、振動等を与えないで下さい。

電源投入直後、TUBE DRIVEの動作が安定するまでに約60秒くらいかかります(ヒーターが加熱する時間)。

すぐに音が出なくても故障ではありません。

〔お手入れについて〕

お手入れは柔かい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー等の溶剤を使用しますと、外装が溶けたり、塗装がはげる恐れがあります。

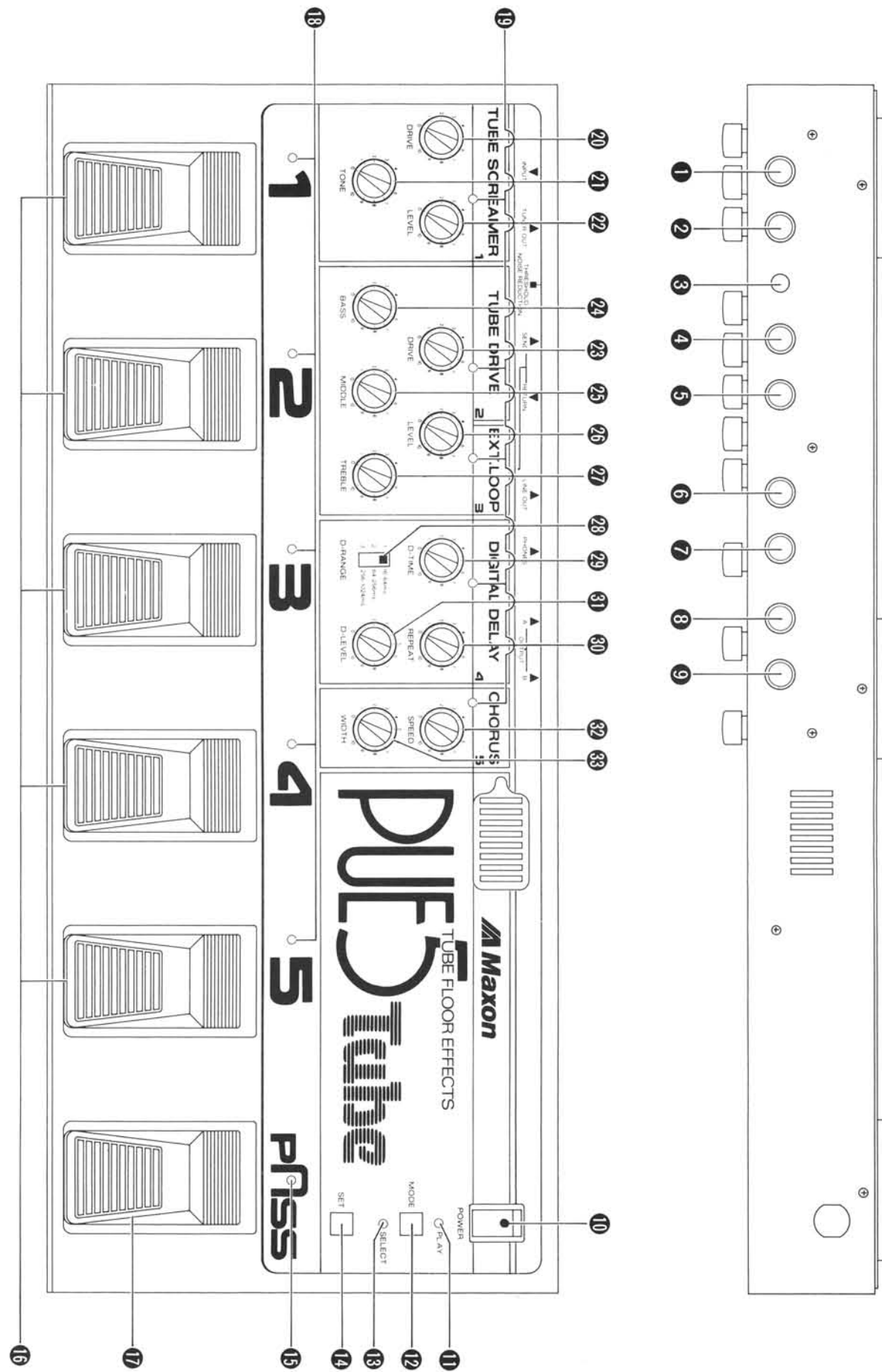
必要以外の止めネジ類には絶対に触れないで下さい。故障の原因になります。

〔保証、アフターサービスについて〕

製品に添付されている保証書には、販売店の捺印が必要です。所定事項をご確認の上、大切に保管してください。

お買い上げ日より一年間は保証期間となり、保証書の記載事項の範囲内で当社アフター機関が無償にて修理、調整をさせていただきます。修理依頼はお買い上げの販売店、又は下記サービス部宛にご用命下さい。

改造等、手の加えられた事が認められた場合は、保証期間中でも修理時に保証書の適用が受けられなくなります。ご注意下さい。

目　次

各部の名称と働き

背面（リア・パネル）

❶ INPUT （インプット・ジャック）

エレクトリック・ギター、エレクトリック・ベース、キーボード等の電子楽器を接続します。

❷ TUNER OUT （チューナー・アウト・ジャック）

楽器用のチューニング・メーターを接続します。本体のセッティングとは無関係にいつでもチューニングが行えます。

❸ THRESHOLD （スレッショルド調整ツマミ）

内蔵ノイズ・リダクションの効き方を調整します。ツマミに向かって右いっぱいでノイズ・リダクションの働きが弱くなり、左へ回すほど効きが強く、わずかなノイズにも反応します。左へ回し過ぎますと高音域が劣化しますので、極度にノイズの多いセッティングの時以外はツマミを中央付近にセットしてください。

❹ SEND （センド・ジャック）

お手持ちのエフェクターをPUE5 TUBEと同時に使用する際に、エフェクターを接続するジャックです。外部エフェクターのインプット・ジャックに接続します。

❺ RETURN （リターン・ジャック）

❹のSENDに接続したエフェクターのアウトプット・ジャックからの出力を接続します。

❻ LINE OUT （ライン・アウト・ジャック）

PAミキサー、レコーディング・ミキサー、マルチ・トラック・レコーダー等へ信号を送るジャックです。ギターアンプ・シミュレーター内蔵により、ギターアンプ使用時と同等の音質が得られます。

❼ PHONES （ヘッド・フォーン・ジャック）

ヘッド・フォーンを接続します。ギターアンプ・シミュレーター内蔵により、ギターアンプ使用時と同等の音質が得られます。 ※必ずステレオ・ヘッドフォーンを使用して下さい。

❽・❾ OUTPUT A/B （アウトプット・ジャック）

ギターアンプに信号を送るジャックです。ギターアンプのインプット・ジャックと接続します。通常ギターアンプを1台で使用する場合は、OUTPUT A❽を使用します。ギターアンプを2台使用してステレオ効果を得る場合は、OUTPUT B❾にもう1台のギターアンプを接続します。この時アウトプットBからはアウトプットAのコーラスとは逆位相の反転信号が出力されます。

❿ POWER （パワー・スイッチ）

電源スイッチです。白い指標側を押すと電源が入り本体に電源が供給され操作可能となります。

本機は国内電圧（AC100V 50／60Hz）専用となっています。誤って他の電源電圧を加えますと動作不良や発熱の原因となりますので、必ずAC100Vを供給し使用してください。

正面（メイン・パネル）

⑪ PLAY　（プレイ・モード・インジケーター）
　モード・キー⑫でプレイモードを選択すると点灯し、動作モードがプレイ・モードであることを表示します。
　※（電源投入直後はこのモードになっています。）

⑫ MODE　（モード・キー）
　記憶させた内蔵エフェクツのON/OFFパターンを呼び出すプレイモードと、エフェクツのON/OFFパターンを記憶させるセレクトモードとを切り替えるスイッチです。キーを押すたびに、プレイモードとセレクトモードが反転します。

⑬ SELECT　（セレクト・モード・インジケーター）
　モード・スイッチ⑫でセレクトモードを選択すると点灯し、動作モードがセレクト・モードであることを表示します。

⑭ SET　（セット・キー）
　エフェクツのON/OFFパターンを記憶させ、そのパターン（プログラム）をプログラムナンバー（1～5）のどれかに割り当てる場合に使用します。キーを押すとプログラム・インジケーター⑱（1～5）が全て点滅し、割り当て作業のスタンバイ状態となります。

⑯ プログラム・ペダル
　（セレクト・モード内での使用法）※モード・キー⑫でセレクト・モードを選択してください。
　内蔵エフェクツのON/OFFを個別にコントロールします。押す度にONとOFFが反転します。各ペダルとエフェクツの対応は次の通りです。
　ペダル **1** ⇨TUBE SCHREAMER　ペダル **2** ⇨TUBE DRIVE　ペダル **3** ⇨EXT. LOOP
　ペダル **4** ⇨DIGITAL DELAY　ペダル **5** ⇨CHORUS

　（プレイ・モード内での使用法）※モード・キー⑫でプレイ・モードを選択してください。
　記憶（プリセット）させたON/OFFパターン（プログラム）を呼び出す時に使用します。ペダルを踏むとプログラム・インジケーター⑱が点灯し、対応する番号のプログラムが瞬時に呼び出せます。

⑰ パス・ペダル　⑮ パス・インジケーター
　記憶（プリセット）させた内容とは無関係に、全てのエフェクツをパスし、ノーマル音を出力させます。押す度にノーマル音とエフェクト音が反転し、ノーマル時にパス・インジケーター⑮が点灯し、エフェクト時に消灯します。

⑱ プログラム・インジケーター
　各番号に対応したプログラム・ペダルを踏むとインジケーターが点灯し、記憶（プリセット）させた1～5までのパターン（プログラム）の何番が呼び出されているかを表示します。

⑲ オン／オフ・インジケーター
　各内蔵エフェクツ及び外部ループのON/OFF状態を示します。エフェクト・オンで点灯し、エフェクト・オフで消灯します。

エフェクツ・コントロール・ツマミ　名称と働き

★TUBE SCREAMER……チューブ・アンプをオーバードライブさせた様な効果です。原音のニュアンスを生かしたコード・バッキングに最適です。

⑳ DRIVE　（ドライブ）
　オーバードライブの深さをコントロールします。右に回すに従い、歪みとサスティーンが増します。

㉑ TONE　（トーン）
　高音のコントロールをします。右に回すと高音がブーストされ、左に回すとカットされ、メローなサウンドになります。

㉒ LEVEL　（レベル）
　エフェクト音の音量をコントロールします。右に回すほど音量が増します。左いっぱいで音量が"0"になります。

★TUBE DRIVE……原音を歪ませ、ロックやポップスに代表されるオーバードライブ・サウンドや、ディストーション・サウンドを作ります。真空管アンプ内蔵により、ソフトなサウンドからハードなサウンドまで幅広くリニアに作り出せます。

㉓ DRIVE　（ドライブ）
　原音の歪みの強さをコントロールします。左に回すとオーバードライブ的なサウンドとなり、右へ回すに従って歪みが深くディストーション的なサウンドになります。

㉔ BASS　（バス）
　エフェクト音の低域の音質をコントロールします。右に回すほど低音が強調され厚みのあるサウンドになります。左へ回すと低音は減少します。

㉕ MIDDLE　（ミドル）
　エフェクト音の中域の音質をコントロールします。右に回すほど中域音が強調され、左に回すと中域音は減少します。

㉖ TREBLE　（トレブル）
　エフェクト音の高域の音質をコントロールします。右に回すほど高音が強調されタイトな音質になり、左へ回すと高音が減少し丸みのあるメローなサウンドになります。

㉗ LEVEL　（レベル）
　エフェクト音の音量をコントロールします。右に回すほど音量が増し、左いっぱいで音量が"0"になります。

★DIGITAL DELAY……原音に原音より遅れた音〔ディレイ音〕を加え、山びこ効果によりサウンドに厚みと拡がりを与えます。

㉘ D-RANGE　（ディレイ・レンジ）
　原音に対し、遅れた音（ディレイ音）が発するまでの時間（ディレイ・タイム＝最短16msec~最長1024msec）を、細かく3段階に設定します。

ポジション１＝16msec〜64msec
ポジション２＝64msec〜256msec
ポジション３＝256msec〜1024msec

㉙ D－TIME （ディレイ・タイム）
㉘のD－RANGEで設定したポジション内で、ディレイ・タイムの最短から最長までをコントロールします。右に回すほどディレイ音が発するまでの時間が長くなります。

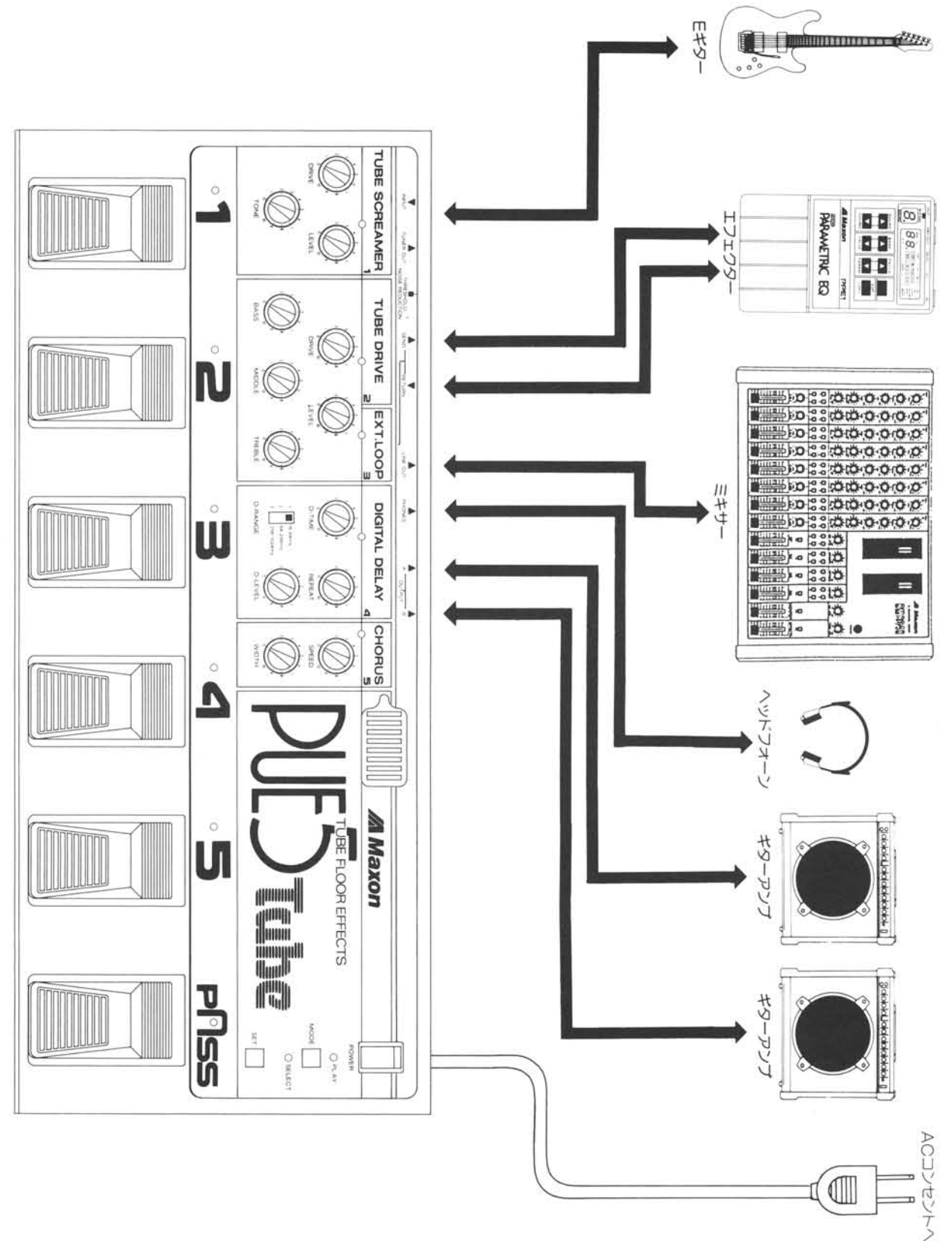
㉚ REPEAT （リピート）
ディレイ音の繰り返し量をコントロールします。右に回すほど繰り返しの回数が増し、ディレイ音は繰り返すごとに小さくなって行きます。左いっぱいでディレイ音は１回だけとなります。

㉛ D－LEVEL （ディレイ・レベル）
ディレイ音の音量をコントロールします。右に回すほど音量が増し、右いっぱいで原音と同じレベルに、左いっぱいで"０"になります。

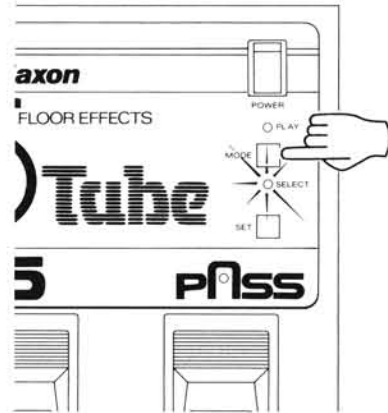
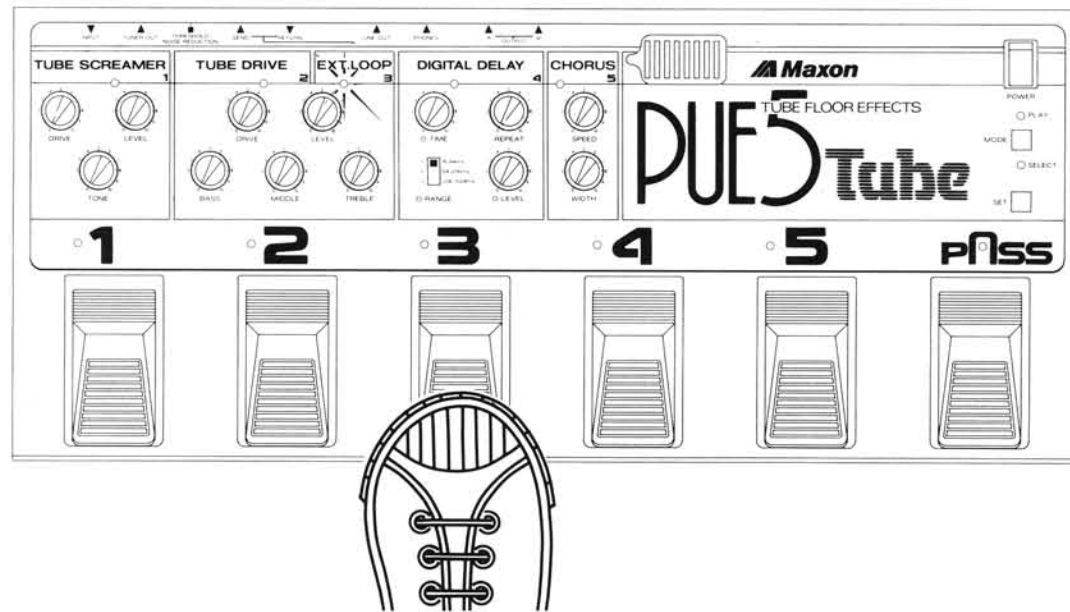
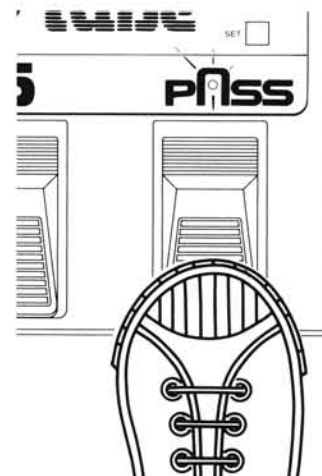
★**CHORUS**……原音に原音よりわずかに遅れたモジュレーション・サウンドを加え、サウンドに立体感や奥行きを与えます。

㉜ SPEED （スピード）
モジュレーションのスピードをコントロールします。右に回すほどウネリが連続的になり、音に厚みが出てコーラス効果が増します。回しすぎると原音とは別の感じの音色になりますのでご注意下さい。

㉝ WIDTH （ウィドス）
モジュレーションの強さをコントロールします。右に回すほどウネリが強くなり、コーラス効果が増します。回し過ぎにより透明感を損なわないようご注意下さい。

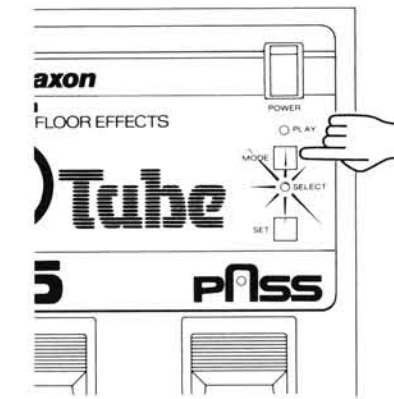
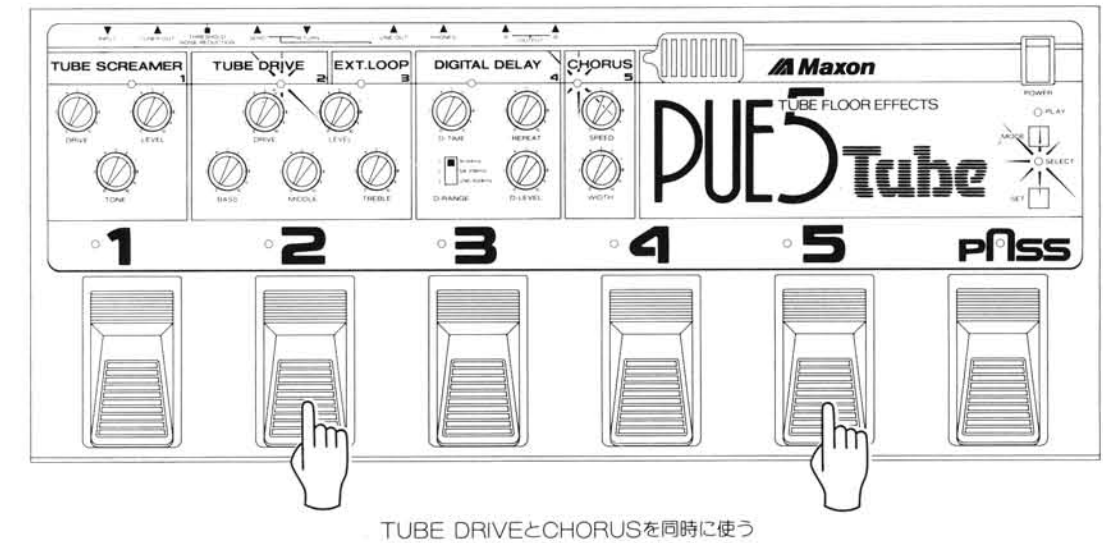
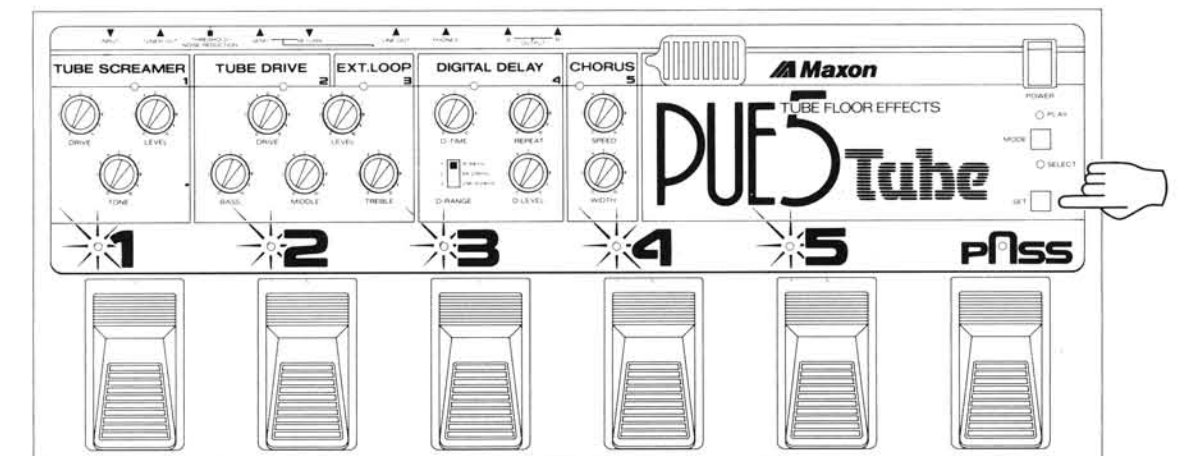
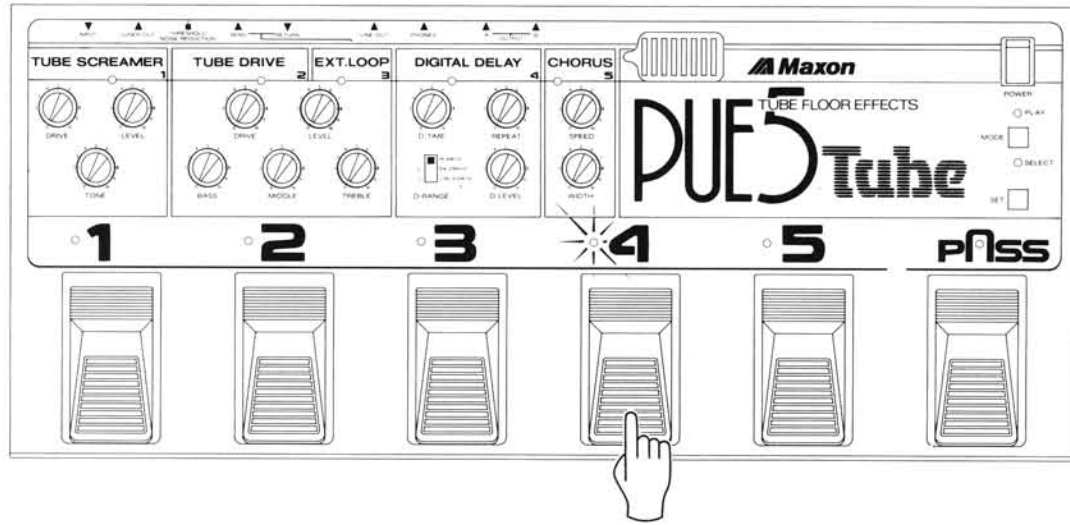
接続例

操作方法

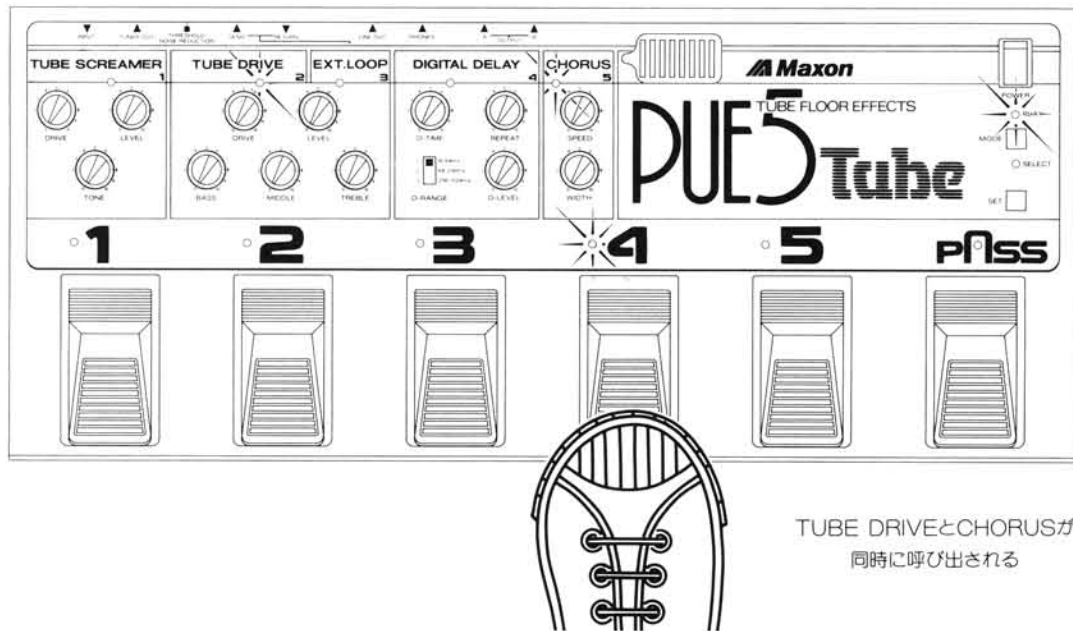
セレクトモードを使ってエフェクツのON/OFFをマニュアル操作する場合

1　モードスイッチ⓬でセレクトモードを選びます。

2　使いたいエフェクターに対応するペダル⓰を踏むと、それぞれのON/OFFが実行できます。

3　パスペダル⓱を踏むとONしているエフェクツ数に関係なく瞬時にノーマル音が呼び出せ、再度ペダルを踏むとエフェクト音に戻ります。（LED点灯：バイパス状態　消灯：エフェクト状態）

各エフェクツのON/OFFパターンを記憶させる場合

1　モードスイッチ⓬でセレクトモードを選びます。

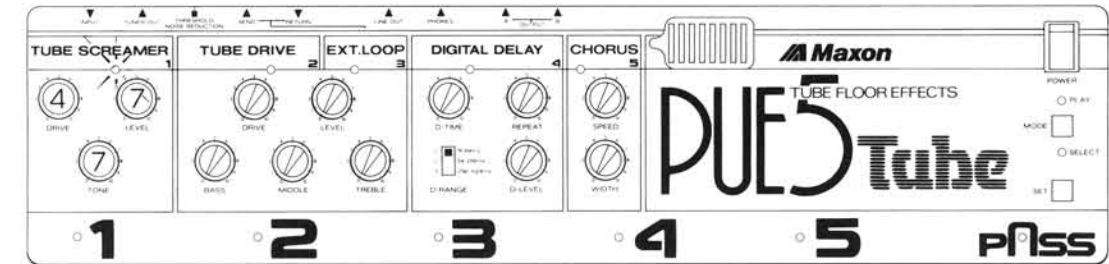
2　使いたいエフェクツを選びペダル⓰でONさせます。

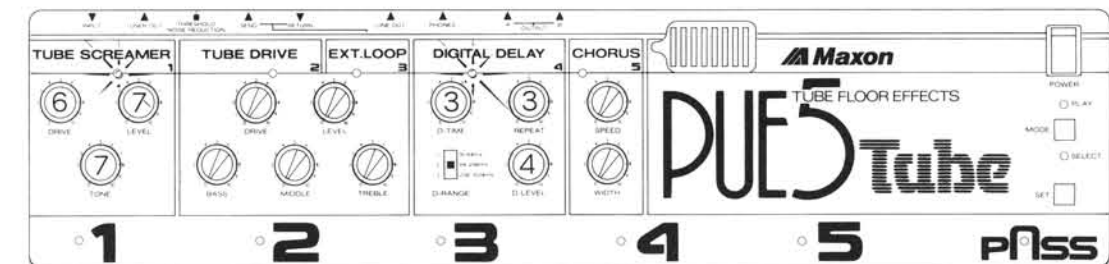
TUBE DRIVEとCHORUSを同時に使う

3　セットキー⓮を押します。インジケーター⓲が一斉に点滅を始めます。

4　記憶させたい番号のペダル⑯を押すとインジケーターの点滅が止まり、その番号にON/OFFが記憶されモードは自動的にプレイモードに変わります。

記憶されたON/OFFパターンをペダルで呼び出す場合

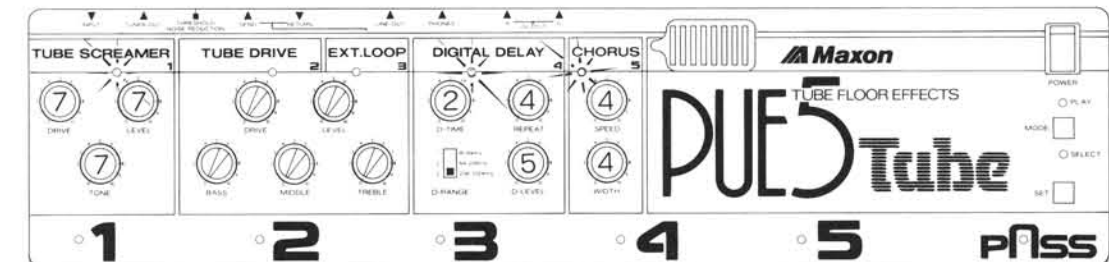
1　呼び出したい番号のペダル⑯を踏みます。

2　パスペダル⑰を踏むと呼び出されているON/OFFパターンに関係なく瞬時にノーマル音が呼び出せ、再度ペダルを踏むとON/OFFパターンに戻ります。

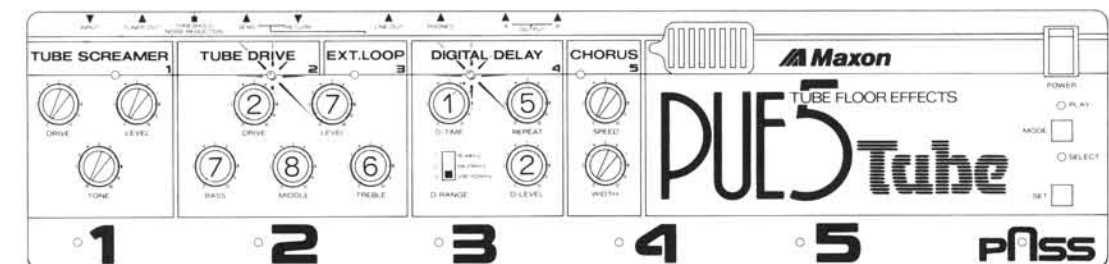
セッティング例

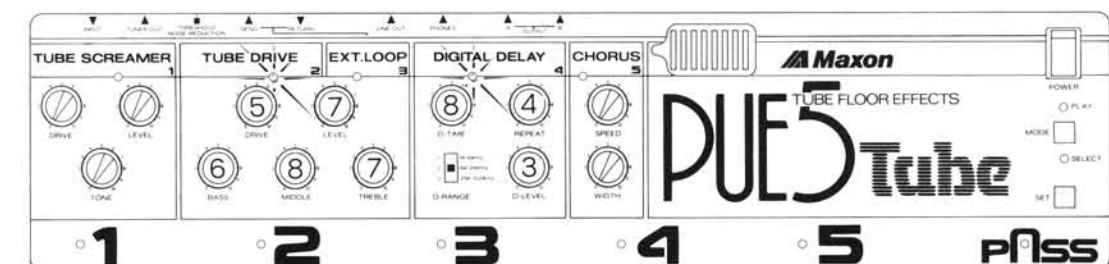
●ドライヴ・セッティング　1

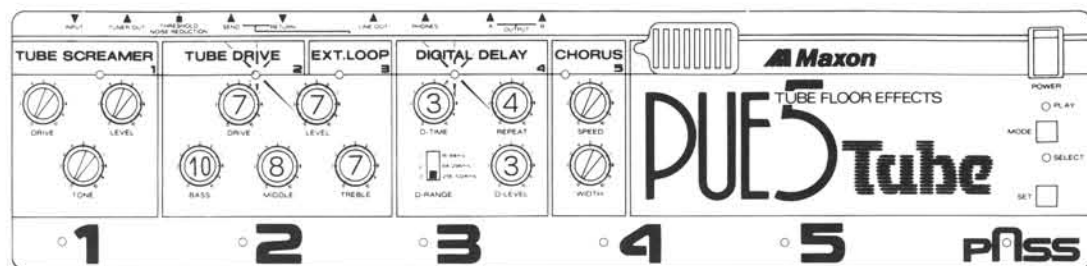
バッキングなどに向くクセの無いなめらかなスタンダード・トーン。

●ドライヴ・セッティング　2

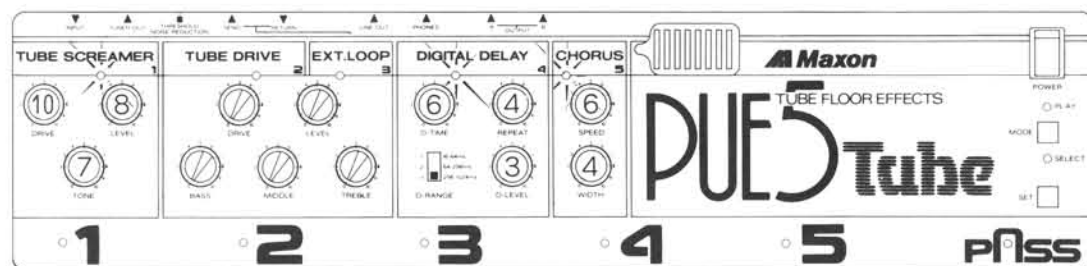
1にディレイを加えたライヴなドライヴ・サウンドです。ハード、R&Rタイプに良いでしょう。

●ドライヴ・セッティング　3

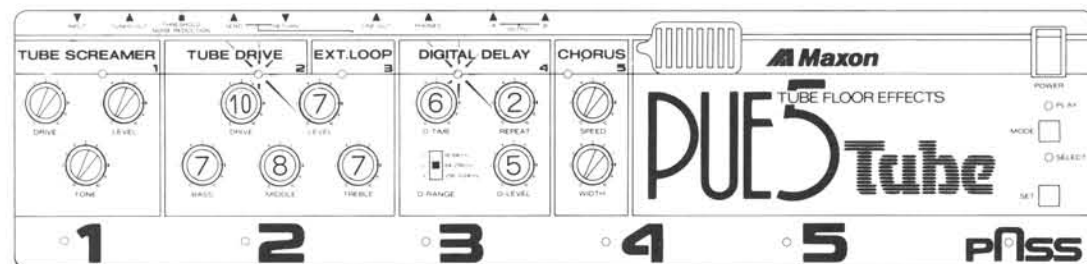
ロングディレイ＋コーラスによるドライヴ系の拡がりのあるサウンド。アルペジオ、バラードタイプ向き。

●チューヴ・ドライヴセッティング　1

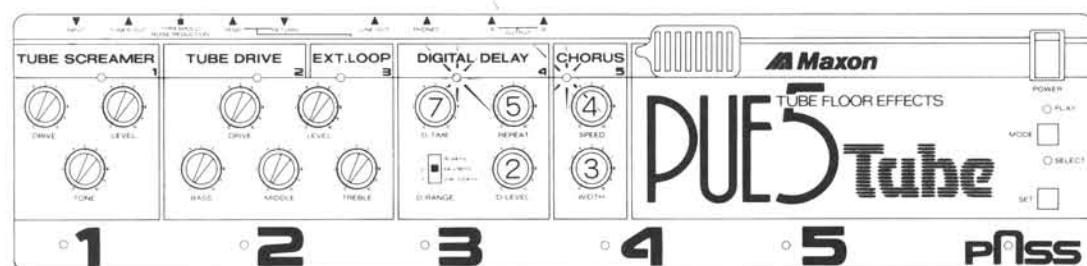
チューヴならではの太くナチュラルなドライヴサウンド。ブルージィーなトーンです。

●チューヴ・ドライヴセッティング　2

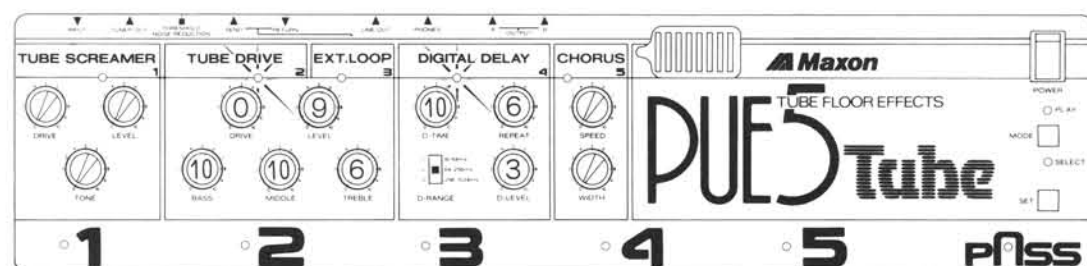
ソロ、バッキング共に使えるチューブならではのドライヴサウンド。ディレイはお好みで。

●チューヴ・ドライヴセッティング 3

ソロ向きのツヤやかでストレートなサウンド。オールラウンド向きのセッティング。

●ソロ・ドライヴセッティング 1

深目のスクリーマー＋拡がり系によるなめらかで立体的なソロ用セッティング。

●ソロ・ドライヴセッティング 2

チューヴ・ドライヴ+ショート・ディレイによるメタリックなソロ用ドライヴ・セッティング。

●クリーン・サウンドセッティング 1

シングルPU系に合わせたクリーンセッティング。シャープなカッティングに向いています。

●クリーン・サウンドセッティング 2

ピッキングのニュアンスによって、クリップをコントロールできるナチュラルなチューヴ・アンプサウンド。

主な規格

INPUT	入力インピーダンス	500KΩ
	最大入力レベル	4dBv
TUNER OUT	出力インピーダンス	1KΩ
	最大出力レベル	8dBv
	適合負荷インピーダンス	10KΩ以上
SEND	出力インピーダンス	1KΩ
	最大出力レベル	8dBv
	適合負荷インピーダンス	10KΩ以上
RETURN	入力インピーダンス	500KΩ
	最大入力レベル	4dBv
LINE OUT	出力インピーダンス	1KΩ
	最大出力レベル	8dBv
	適合負荷インピーダンス	10KΩ以上
PHONES	出力インピーダンス	1KΩ
	最大出力レベル	8dBv
	適合負荷インピーダンス	32Ω以上
OUT PUT A,B	出力インピーダンス	1KΩ
	最大出力レベル	8dBv
	適合負荷インピーダンス	10KΩ以上

周波数特性		30Hz～20KHz ±3dB
全高調波歪率		0.1%以下
残留ノイズ		−110dBv以下
エフェクツ・コントロール	チューブスクリーマー	DRIVE/TONE/LEVEL
	チューブドライブ	DRIVE/BASS/MIDDLE/TREBLE/LEVEL
	ディジタル・ディレイ	D−RANGE 1：16～64msec
		D−RANGE 2：64～256msec
		D−RANGE 3：256～1024msec
		REPEAT/D−LEVEL
	コーラス	SPEED/WIDTH
	ノイズ・リダクション	THRESHOLD
コントロール・スイッチ		MODE/SET
コントロール・ペダル		PGM.×5/PASS×1
プログラム数		5
消費電力		8W
電源		AC100V(50Hz/60Hz)
寸法・重量		432(W)×57(H)×183(D)mm 3.1kg